

【史料を使った問題】（難易度：やや難）

古代の南アジア・東南アジアに関する次のA～Eの史料に関連するあとの問に答えなさい。

A：デーヴァナンピア・ピヤダシ王の灌頂即位八年に、※カリンガ国が征服された。このカリンガでの戦争において、一五万人がそこから（捕虜として）移送され、一〇万人がそこで殺され、またその幾倍かが死んだ。それ以後、今やカリンガは領有されているのであるから、デーヴァナンピアは□1□の遵奉、□1□への愛慕、および（人民への）□1□の教導（に専念している）。これはデーヴァナンピアがカリンガ国を征服したことに対する後悔なのである。

※カリンガ：インド東部オリッサとよばれる海岸地方に対する古称。（『磨崖法勅』第一三章）

B：シャーリプトラよ、この世においては物質的現象には実体がないのであり、実体がないからこそ、物質的現象で（ありうるので）ある。実体がないからといっても、それは物質的現象を離れていない。また、物質的現象は、実体がないことを離れて物質的現象であるのではない。（このようにして）およそ物質的現象というものは、すべて、実体がないことである。およそ実体がないということは物質的現象なのである。これと同じように、感覚も、表象も、意志も、知識も、すべて実体がないのである。（『般若心経』）

C：一 太初において彼はヒラヌヤ・ガルバとなりぬ。その生まるるや万有の独一主宰たり。彼は地を安立せり、天をもまた。祭供もてわれらの祀るべき神や誰？  
二 彼は生命を与え、力を賦与す。一切の神はその命に従う。不死も死もその影なるのみ。祭供もてわれらの祀るべき神や誰？（『リグ＝ヴェーダ』）

D：偉大な光明である彼（ブラフマン）は、彼が創造した一切のものを守護するために、口、腕、腿、足から生まれた者たちに、各々（が従すべき）職業を割り当てた。

□2□には（ヴェーダの）教授と学習、自分と他人のための祭式執行、布施と受施（という生活法）を割り当てた。

□3□には人民の守護、布施すること、（自分のために）祭式を行うこと、（ヴェーダの）学習、および感官の対象に執着しないことを指示した。

□4□には家畜の飼育、布施すること、（自分のために）祭式を行うこと、（ヴェーダの）学習、商業、金貸し業、および農業（を定めた）。

主（ブラフマン）は、□5□に対し、これらの（上位三）ヴァルナに不平を言わずに奉仕するという唯一の行為のみを命じた。（『マヌ法典』第一章八八条～同九一条）

E：□6□の都では僧侶が千人以上いて学問にいそしみ、みな托鉢を行っている。彼が極めようとする書物はすべてインドのものとは異ならないし、出家者の儀式のやり方もまたすべてインドと同じである。唐の僧侶で西方に行つて学問をしようとする者がいれば、そこに一、二年滞在して、その仏法の方式を学んだ後にはじめてインドに進むのもよいことである。（『根本説一切有部百一羯磨』巻五）

問1 史料Aに関する各問いに答えなさい。

(1) 文中にある「デーヴァナンピア・ピヤダシ王」とはマウリヤ朝最盛期の王を指している。この王の名を次の中から選びなさい。

- ア ハルシャ＝ヴァルダナ      イ カニシカ王  
ウ チャンドラグプタ2世      エ アショーカ王

(2) (1)の人物は仏教を保護した。彼の時代に布教が進んだ地域を次の中から選びなさい。

- ア ベトナム      イ スリランカ      ウ ミャンマー      エ イラン

(3) 文中の 1 に入る適切な語句を次の中から選びなさい。

- ア 救世主(メシア)    イ バクティ    ウ ダルマ(法)    エ ワヤン

問2 史料Bに関する各問いに答えなさい。

(1) 文中の「シャーリプトラ」は仏教を創始した人物の弟子である。仏教の創始者を答えよ。

(2) 仏教について述べた文として正しいものを選びなさい。

- ア 善神と悪神の間に最後の戦いが行われ、善神が勝つという最後の審判を説いた。  
 イ 自分を愛するようにすべての人を愛しなさいという隣人愛を説いた。  
 ウ ヤハウェとの契約を守るものが救われるとする選民思想を唱えた。  
 エ 解脱にいたる実践法として八正道を唱えた。

問3 史料Cに関する各問いに答えなさい。

(1) このリグ=ヴェーダについて述べた文として正しいものを選びなさい。

- ア 神々に捧げられた賛歌集である。  
 イ 『旧約聖書』の「ノアの箱舟」の原型とされる洪水物語が含まれている。  
 ウ 神々の系譜を語った叙事詩である。  
 エ コーサラ国のラーマ王子の冒険をうたった叙事詩である。

(2) (1) などを生みこの時期にパンジャブ地方に進出した民族名を次の中から選びなさい。

- ア シュメール人    イ ギリシア人    ウ チャム人    エ アーリヤ人

問4 史料Dに関する各問いに答えなさい。

(1) この法典はグプタ朝の時期にまとめられた。同じグプタ朝の時期に『シャクンタラー』などの戯曲を著した作家を答えよ。

(2) 文中の 2 ~ 5 に入る適切な語句を次の中からそれぞれ選びなさい。

- ア ヴァイシャ    イ バラモン    ウ シュードラ    エ クシャトリヤ

問5 史料Eはある唐僧が書いたものである。次の各問いに答えなさい。

(1) この唐僧は『南海寄帰内法伝』を著した人物である。この唐僧の名を答えよ。

(2) (1) の人物が立ち寄った国で、文中 6 にあてはまる東南アジアの国名を次の中から選びなさい。

- ア 扶南    イ パガン朝    ウ 真臘    エ シュリーヴィジャヤ

【解答例】

問1			問2			
(1)	(2)	(3)	(1)			(2)
エ	イ	ウ	ガウタマ=シッダールタ			エ
問3		問4				
(1)	(2)	(1)	(2)			
ア	エ	カーリダーサ	2	3	4	5
			イ	エ	ア	ウ
問5			【配点】問1の(1)、問2の(1)(2)、問3の(1)、問4の(1)、問5の(1) 各2点。問1の(2)、問3の(2)、問4の(2)、問5の(2) 各1点。合計20点			
(1)	(2)					
義浄	エ					